

平成 28 年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表  
 (実施期間：平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

法人名	社会福祉法人 憲章会	代表者	理事長 石島 衛	法人・ 事業所 の特徴	当法人は、役員・職員の資質向上のための研修等の実施をしている。南城市からの委託事業「高齢者一時保護事業」「食の自立支援事業」「生活管理指導員派遣事業」や「夜間・休日相談事業」の受諾をしている。小規模多機能事業所では、公文学習療法や地域の脳トレへ職員を派遣したり地域交流を深める努力をしている。また、利用者自身の「～したい」想いを尊重し、ふるさと訪問（石垣・宮古・久米島）を実施している。
事業所名	東雲の丘小規模多機能型居宅介護事業所	管理者	管理者 平田 いづみ		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	2人	1人	4人	1人	1人	1人	1人	4人	0人	15人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	各職員は、申し送り帳・ちょうじゅ記録システムの確認を徹底し、情報伝達の漏れをなくす。	職員の情報伝達という課題に申し送り帳やホワイトボード・ちょうじゅ記録システムを活用し、情報の共有が図れた。	・取り組む姿勢が確認されています。また、運営推進会議にて報告がありますので情報が伝わります。	○これからも職員間の情報共有は重要事項である。継続してシステムを活用していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	誰でも利用しやすい設えにしている。	各々の急須・湯飲みを準備しお膳にセットを提供する事で、くつろげる雰囲気を作った。  急須セットを置く棚がすごく素敵で、おもてなしされている雰囲気が良くなった。	・施設全体的に、何処にどんな事業所があるか分かりにくい。外見の表示を工夫する必要があるのではないか。 ・自動ドアのスイッチが切れている場合、どうやって開くかわからない。「手で開けて下さい」「手動」などの表示をする必要があるのではないか。	○外見からも小規模多機能の入口がわかるよう工夫を行う。 ○玄関自動ドアスイッチを切っている場合、手動である事の表示を行う。 ○職員目線・趣味の掲示になっていないか注意を行う。
C. 事業所と地域のかかわり	次年度は、大里地区にこだわらず、南城市の他地域へもミニデイなどを活用し対応していきたい。	・今年度は玉城親ヶ原ミニデイ利用者さんとの交流を行った。 ・部落ごと1回のみ行うのではなく、継続して行う事ができなかった。	・南城市は大きい地域である。まず無理せず実施可能である範囲でもいいのではないかと。 ・懐かしい顔を見ると、元気になったり涙したり住んでいた地域の方々と会うのは力になりいいですね。	○利用者さんの今までの地域（生活）との繋がりが切れなような支援を継続していく。 （美容室・商店等の利用） ○今まで通っていた地域のミニデイとの交流を増やしていく。

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>利用者宅を訪問する際には、周囲の家族へも声掛けをし、万一の際には協力をお願いする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急キッドの設置を包括支援センターから案を頂き設置する事ができた。</li> <li>・利用者宅地域の民生員との関わりを持つ事ができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからも隣近所への声掛けをお願いします。</li> <li>・近隣者が小規模事業所の役割を知って貰う様、小規模広報誌などの活用もした方がいいのではなんでしょうか。</li> <li>・南城市発行の広報誌を活用し、行事やイベントへ参加して欲しい。</li> </ul>	<p>○まだまだ小規模の役割を地域住民の皆様に伝えきれていない所がある。事業所広報誌を活用しながら、近隣、ミニデイと共有できるよう図る。</p> <p>○南城市発行の広報誌を活用し、地域行事・イベントへの参加を図る。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>運営会議のなかで、参加者全員で情報を持ち寄り、親交を深めるようにしていきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営会議は昨年より共有ができ、色々な視点から意見が活発にされていた。</li> <li>・運営推進委員の協力で地域へ戻す取り組みが出来た。(ミニデイ活動)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議の意義等の理解が深くなり、より充実できる会議になっている。</li> <li>・報告・意見交換も大事であるが、一緒に何かできないだろうか。</li> </ul>	<p>○運営推進会議参加者が一緒にできる行事(避難訓練等)の充実を図る。</p> <p>○利用者の地域に目を向け参加を促す。</p>
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>事業所としては、災害時の避難受入施設としての準備をしています。(アクロポリスの活用) 運営推進会議を避難訓練の日程に調整する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練を運営推進会議参加者と一緒に出来なかった。今年度は実施したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人においては備蓄等の準備は行っているが、小規模多機能でも何らかの準備は必要ではないか。</li> <li>・地域でも防災・災害対策はいつでもテーマに上がっています。</li> <li>・南城市としては、情報共有のネットワークの改善をしようと話している。</li> <li>・消防署にも訓練へ来て貰いたい。</li> <li>・在宅において、登録利用者の避難場所を確保できているか。</li> </ul>	<p>○運営推進会議参加者と共に避難訓練を実施していく。</p> <p>○小規模建物の両サイド事業所と防災・災害対策を情報共有していく。</p> <p>○防災・災害時の対応を職員間で勉強及びシミュレーションを行う。</p> <p>○利用者さんの地域避難場所の確認を行う。</p>